

高校教員に修士課程への道を。長岡技術科学大学（服部賢学長）は十一年度から、大学院修士課程「工業高校教員リフレッシュ教育コース」を新設する。同大学によると、現職の高校教員を対象にした屋間の修士課程の設置は全国で初めてという。

199.1.30
日本教育新聞

工業高校教員に修士課程

長岡技術科学大が新設

文相の諮問

機関である教育職員養成審議会は昨年十月、「修士課程を積極的に活用した教員養成のあり方について」の答申の中で、教員の力量向上のために現職教員が大学院修士レベルの教育を受ける

機会を拡充し、専修免許状を取得するための方策を提言した。今回はこれを先取りする受験資格があるのは、高校教諭一種免許（工業）を

入学後、一年次は通学して修士課程修了に必要な三十単位を修得することが原則だが、修士論文の作成が中心になる二年次は、学校に勤務しながらでも研究指導が受けられるようにす

間集中して研究することなども可能としている。同大学の霜鳥秋則副学長は「教養審の答申などを受け、多少早いかもしれないが、受け入れの機会だけでもつくりと設置した。教

育委員会や学校に理解を求めるとともに、多くの高校教員からの出願を期待している」と話している。

募集人員は若干名。本年四月入学の出願期間は一月二十一日で終了。試験は二月と九月の年二回、実施する。

そのため、インターネットや電子メールなどを使った遠隔授業システムの活用などが考えられており、このほか指導教官との話し合いで、たとえば長期休業期